

- ドラッグストアー
- わたしの病院
- 医師、薬剤師個人
- 医師の個人的なホームページ
- 医者自身が個人で立ち上げているサイトで、具体性があり対応に誠意が感じられるもの
- 各種情報提供サイト
- 患者さんやその家族による掲示板
- 健康食品メーカー及び機能性食品メーカー
- 個人サイト
- 個人でも信頼できそうだと感じる人がいる。
- 治験についてのサイト
- 治験情報ネット
- 自然食品のサイト。
- 数名の医師と患者による共同運営（@ニフティの喘息フォーラム）
- 専門医本人によるホームページ
- 大学などの学術機関、人格的に信頼できそうな医師個人
- 民間掲示板

問6. 情報を利用される時、内容の信頼性の基準としてどのような点に留意されますか？「信頼できる」と思われる要素の中で重要なものをあげてください。（いくつでも選んでください）

・ 公的な機関が提供する情報である	48.1%
・ 実在する医療機関が提供する情報である	55.0%
・ 薬をつくっている製薬メーカー自身が提供する情報である	28.5%
・ 医師または医師団体が提供する情報である	47.5%
・ 薬剤師が提供する情報である	18.3%
・ 患者（団体）が提供する情報である	44.7%
・ その他	2.3%

- あちこちからの情報を合わせて総合的に見ています一件だけでは信用できません。
- あるある大辞典（TV）のサイト
- サイト運営会社自体が信頼できること
- 医師及び患者、公的機関が一緒になった情報が是非欲しい
- 一箇所だけで判断しないようにしている
- 一部新聞などで報道された情報である
- 何箇所か検索して同じ回答については信頼できると思う
- 怪しげな健康食品等を商品を販売していない。掲示板の書き込みを見たりして。
- 試薬サンプルを提供してくれる
- 自分が実際学習してきたこととさらに詳しく掲載されている情報であること
- 実際に経験されたことのある方の話
- 症状などに具体性があるもの。深刻な悩みの吐露など。
- 情報の根拠出典を細かく記してある

- 情報開示度合い（発信側で意図的制限を感じると不信に思う）
- 専門家ではなく、経験者
- 単一の情報でなく情報の交差をすることで精度をあげている
- 中立性
- 統計やその患者の体質や年齢を知った上での情報
- 特に基準は無い
- 内容が丁寧に説明してある情報。
- 日本よりサプリメントの情報が多い外国の情報
- 文章からにじみ出てくる雰囲気、および自分の知識と照らし合わせて
- 聞き慣れている、昔からある、馴染みのある
- 薬なら薬、病状なら病状と絞り込んで情報を提供しているサイト。

問7. 情報を利用される時、利用者側からみて「信頼性を損ねる」と考えられることは何ですか？
 (いくつでも選んでください)

- | | |
|----------------------------|-------|
| ・誰が情報提供者かよくわからない | 67.3% |
| ・専門家の監修を経していない | 26.3% |
| ・情報が一方的で偏っている | 60.5% |
| ・情報に科学性、客観性がない | 37.2% |
| ・裏付けとなる文献・資料など、情報の出所が不明である | 43.8% |
| ・情報の作成日が不明である | 26.2% |
| ・情報の作成日が古い | 44.3% |
| ・情報提供に営利的な要素がからんでいる | 58.6% |
| ・営利企業が提供している | 42.3% |
| ・その他 | 1.4% |

- あまりにも主観的過ぎる場合
- 健康食品で～が治ったという種類のもの（例300あった血糖値が下がり糖尿病が治ったなど：糖尿病は治らない病態が改善されるだけである）
- 公的機関や大学病院のなかで保身的が見え隠れするような感がある。
- 厚生省は信用できない。
- 質問に対して尊大な言い回しで答える方
- 宗教団体がからんでいる。
- 商品や薬の購入、販売が目的のようなサイト
- 新しいクスリは、怖い。実験だいみたいだから。
- 政府機関が意図的に流している
- 製薬会社が絡むと信用できない。ものによっては医師会も信用できない。
- 専門用語多用、掲示板の不設置、運営サイトの名前や連絡先などの不備。
- 他社（他の病院等）とやけに比較し、自分の所を良くいう所
- 都合の悪い情報の隠匿または回避
- 同じ病名でも個々によって症状が違うので、必ずしもあてはまるとは限らないから。
- 難しい言葉を説明していない。
- 本を売るための情報がある

- 問い合わせ先のアドレスや団体の所在地などが明記されていない
- 曖昧な表現が多い。薬の副作用などマイナス面が書かれていない。質問に的を得た答えが帰ってこない。

問8. インターネット上の掲示板やオンライン会議室をどの程度利用されていますか？

・ほとんど毎日	10.8%
・1週間に1度以上	14.9%
・1カ月に1~3回	27.5%
・1年に1~数回	46.8%

問9. 掲示板やオンライン会議室を利用されるメリット（利点）は何ですか？（いくつでも選んでください）

・病気や治療法に関する情報を交換するため	50.9%
・医療機関や医師に関する情報を交換するため	24.1%
・同じ患者の書き込みから参考情報を得るため	61.7%
・コミュニケーションを深めるため	19.9%
・医師など専門家の意見をきくため	33.6%
・自分の持っている情報を提供するため	12.7%
・自分の意見を書き込むため	20.3%
・その他	2.4%

- 家だけではないんだと、安心感が持てる
- 疑問に思っている事などの情報を教えてもらえる
- 最新の治験情報や新薬申請状況、（インスリン注射）を試した結果など情報が速く主治医の知らない事も知る事が出来る
- 参照するだけで、利用したことはない
- 私の見るBBS開設者は糖尿専門医（正確にはそれはないが）だし、親切だし、営利目的ではないので。
- 自分と同じ病気の人が出て話すと、精神面で支えられる。
- 自分の個別的な疑問に対してより詳細かつ具体的情報が得ることができる
- 自分の知りたい事柄について、一度に多くの人に質問することができる。
- 同じ痛みを持つ方々と話す事により、一人ではないと安心できる。前向きになれる。精神的な安定。これは私にとってとても大きいです。
- 特にメリットは感じない
- 不安に思ったときに相談できる。色々な意見がきける。
- 本音で意見交換ができる。

問10. 掲示板やオンライン会議室を利用される時の問題点はありますか？（いくつでも選んでください）

・匿名の投稿がある	20.6%
・投稿者の身分、立場がわからない場合がある	40.6%
・営利、広告目的の投稿がある	46.0%

・内容に思い込みや偏見がある	51.9%
・感情的なやりとりがある	36.2%
・低俗な表現や乱暴な言葉遣いがある	24.2%
・誹謗、中傷の内容がある	25.3%
・他人のプライバシーを侵害する投稿がある	25.7%
・投稿者自身のプライバシーが危ないことがある	26.8%
・その他	2.6%

- 「感情的なやりとりがある」のが問題というより、感情的なやりとりがあった場合、これを焚付け攪乱する無責任な第三者の介入がある
- モラルの低下が著しいサイトが増加中。
- 意見が間違っているかどうか判断できない
- 一方通行ではいけないと思う時がある。
- 営利目的で弱い気持ちにつけ込んで、土足で踏み込んでこられるととても悲しく、情けなく思います。
- 感想になるが、珍しく上記の内容が少ない。やはり糖尿病患者という特定のBBSだからか？
- 掲示板の管理者が独裁的になってしまうケース（ただし悪意はなく不適切なものを消してしまう）
- 掲示板のルールが守られない投稿があっても、管理する側が何の対応もとってくれないことが多い。
- 荒らしがあるときがある。
- 内容に関して発言者が責任を持たない。持てない。故に憶測であったりデマである事がある。
- 本当に知識を持つ立場の人間なのか、それともそれらしいことを並べている偽者なのかわからない。中には自分は専門の医者だという人間もいるが、あきらかに素人だと感じることもあった。
- 無責任な内容がおおい。

問11. 今までにインターネットで医療相談をされたことはありますか？（同じ内容で複数回のやりとりは一度とみなします）

・一度利用したことがある	16.7%
・二回以上利用したことがある	12.0%
・利用したことはない	71.3%

※上記で「利用したことがある」方へ

その時の相談の相手はどのような立場の方でしたか？（いくつでも選んでください）

・かかりつけの医師	8.4%
・利用している医療機関の他の医師	7.1%
・医療機関のサイトや相談ページで直接は知らない医師	64.5%
・医療機関のサイトや相談ページで看護婦や検査技師などの コメディカル	5.8%

・医療機関のサイトや相談ページで医療従事者ではない人	6.8%
・薬剤師または薬局	9.7%
・保健所職員	1.6%
・製薬メーカー	9.7%
・民間の医療情報提供会社	16.8%
・患者（団体）	17.1%
・その他	2.3%
・不明	0.3%

- かかりつけの鍼灸の先生
- 医療機関で治療を受けた同じ病気を持つ人。
- 看護婦
- 教えてG O Oの相談コーナー
- 正しい治療を呼びかけるホームページの主催者（専門医師）
- 総合的な掲示板で、相手は恐らくお医者様だと思われました。

問12. 今までの医療相談において、または今後、医療相談などのオンラインでのケアサービスを利用されるにおいて、利用者側からみて「不安を感じる」場合があるとすればそれはどのような時ですか？（いくつでも選んでください）

・相手が医師など医療従事者でない場合	39.7%
・相手が本当に実在する医師かどうか確認できない場合	57.2%
・自分の健康データなど個人情報が守られているかわからない場合	62.1%
・得られたアドバイスが正しいものかわからない場合	58.4%
・その他	1.8%

- いくら優れたアドバイスなどもらっても、医療の地域間格差はどうしようもないこと。
- データが、他所に流れて、ダイレクトメールなどがくること
- プライバシーの問題
- 医者の意見が皆違っていった
- 一度利用したが、返事が無かった。その後総て医師に相談している。
- 偽物や嘘つきを見極めるのが困難。
- 具体的な症状などは、文字などで伝え切れない場合がある
- 決め付けた回答
- 見てみないとわからないと断られました
- 宗教っぽいもの
- 症状などが正しく伝わっていなかった場合
- 相談だけなのに結構なお金をとられそうになったとき。
- 相談内容等を送信する際、メールアドレスが先方に公開される点。
- 納得のいく意見が求められなかった。
- 不安解消の一助であって、決定的な判断と仰ぐわけでないのですほどの「不安」なし
- 複数の情報・説があってわからない場合

問13. あなたがオンラインで医療や健康に関する相談をされるとしたら、信頼できる相手としては誰を選ばれますか？上位3つまであげてください。

・医師	93.1%
・薬剤師	37.8%
・看護婦・検査技師などのコメディカル	32.2%
・保健所職員	16.8%
・製薬メーカー	11.1%
・民間の医療情報提供会社	26.8%
・患者（団体）	33.5%
・その他	1.3%

- かかりつけの鍼灸の先生
- サイトを利用してこの人達やサイトは信頼できると思ったとき。
- その病気を研究している所
- 医師の団体というか全国規模の情報提供するような医師団。
- 患者。経験者
- 患者の家族
- 肩書きだけでは信頼できませんが、その人柄やプロフィールが紹介されていると、つい信用してしまいます。
- 個人的に知っている友人の医師
- 自分に近い病状の経験患者
- 自分の症例に詳しい医師
- 実際治療した患者。
- 信頼できない
- 心理カウンセラー
- 同じ医師でも信頼できる（どこの病院のどんな経歴の名どの裏づけがないと）人物
- 牧師さん
- 友人の医師

問14. 個人の医療（健康）情報は、プライバシー性の高い情報ですが、インターネットの普及で今後、個人の医療情報が、さまざまなかたちで流通・利用されるようになると予想されています。このような状況にあって、あなたは個人の医療（健康）情報がどう扱われていくかについて関心がありますか？

・非常に関心がある	35.1%
・まあまあ関心がある	54.5%
・あまり関心はない	10.2%
・まったく関心はない	0.3%

※上記で「非常に関心がある」「まあまあ関心がある」とされた方へ
どのようなことに関心がありますか？（いくつでも選んでください）

・何の情報が収集されているかについて	55.7%
・どのような目的に利用されているかについて	76.3%

・誰が情報やデータを扱っているかについて	59.8%
・どのように内部で管理されているかについて	53.3%
・保管された情報が間違っていないかどうかについて	29.5%
・第三者に利用されていないかについて	64.7%
・コンピュータのハッキングや不正アクセスに対して防禦対策があるかについて	44.1%
・その他	0.5%
・不明	0.5%

○どのような利用であっても本人の承諾なしでは許されないと思う

○よりよい治療法の発見について

○営利目的で利用される（健康食品等の販売）

○自分の知らないところでそのような情報が流通したり利用されたりしないか、ということについて

○情報を管理している職場の従業員の信頼性（横流しや売買など懸念）。

○必要じゃない情報も記入させてないか。

○法的な整備。

問15. インターネットを利用して個人情報を取り扱う事業者は、個人情報の取得方法や管理方法に関して、プライバシーポリシーと呼ばれる個人情報の取り扱い方針を作成し、これをウェブサイト上で予め利用者に告知することがあります。医療機関や企業が、インターネットで個人の医療（健康）情報を扱う場合は、このプライバシーポリシーが必要だと思われませんか？

（注：ここでの個人情報とは、氏名、住所、電話番号、E-mail、家族構成、病状等の個人を特定できる情報全般をさします）

・プライバシーポリシーは不可欠である	80.9%
・プライバシーポリシーはできればあったほうがいい	15.9%
・プライバシーポリシーはなくてもいい	1.2%
・よくわからない	2.0%

問16. プライバシーポリシーは、個人情報を取り扱うものが、自主的に守っていこうという基準で、仮に違反があっても、法的な罰則はありません。日本でも「個人情報保護法」などの法律が検討されていますが、プライバシーポリシーの自主的な運用に加えて、これをチェックする第三者機関や法的な規制などの対策が必要だと思われませんか？

・プライバシーポリシーの自主的な運用で充分である	6.3%
・プライバシーポリシーを法的に義務づけるべきである	40.8%
・プライバシーポリシーの策定だけでなく、これを監査・評価する第三者機関の設置が必要である	26.2%
・法的な規制もしくは強制力のあるガイドラインが必要である	26.7%

問17. 医療機関のウェブサイトで提供される情報は、現在、医療法の広告規制の対象になっていません。その他にも、企業や個人など医療機関以外の運営者から提供される情報もあり、インターネット上には医療や健康に関するさまざまな情報が発信・提供されている現状です。このよう

な中で、情報やサービスの質を確保するための社会的な取り組みとして、情報やサービスの提供者が守るべき自律的な倫理規範もしくはガイドラインのようなものが、国内外で検討されたり、実際に運用されたりしています。

このような倫理規範もしくはガイドラインについてどう思われますか？

- | | |
|--------------|-------|
| ・ぜひ必要だと思う | 62.8% |
| ・やや必要だと思う | 34.4% |
| ・あまり必要だと思わない | 2.6% |
| ・必要ない | 0.2% |

※上記で「あまり必要だと思わない」「必要ない」とされた理由は何ですか？（いくつでも選んでください）

- | | |
|--------------------|-------|
| ・すべて事業者の自主性に任せればよい | 30.0% |
| ・自主基準では実効性がない | 26.7% |
| ・自主基準の運用のチェックが難しい | 33.3% |
| ・法的な規制があれば充分である | 23.3% |
| ・その他 | 3.3% |
| ・不明 | 6.7% |

○個人が冷静に判断すればいいことだと思う。

○情報は送り手側でコントロール（意図的に虚偽を行なわないのは当たり前として）するべきではない。受け手がチェック能力を高めるべき。

問18. 医療・保健分野においてインターネット上で提供される情報やサービスの質、もしくは個人情報保護の問題などに関して、何かご意見があれば、自由にお書き下さい。

○いつもヤフーで検索して探すのですが、なかなか知りたい情報をすぐ見つけることができません。もっと専門的な検索サイトがあるとうれしいのですが・・・。

○プライバシーの保護をまず第1に考えて欲しい。患者の精神的負担を考えると、法的な拘束力をもつべきだと思う。

○情報の性質上、個人のプライバシー保護が重要である。

○プライバシーの配慮が必要

○お会いすることなくお医者さんに相談できるのは、うれしいことですし、これからもしていきたいです。ただどこから個人情報もれているようで、きたことも無い会社から営業の電話がかかってきたりしています。1つのサイトがしっかりしていないために、すべてのサイトに不信感を抱いてしまうのは、悲しいことです。

○今のネット上は言い方は悪いがザル、真偽を見極める目（文章途中切れ）情報がこれだけ飛び交う中で騙されない方法を個人々で考えて見極めなければいけないと思

います。また個人情報に関してはホント嫌になるくらいザルですね、ホントつくづく嫌になります。

- プライバシーの問題が最大の課題だと思う。
- とりあえずアクセスしてみたいなと思います。
- 安心できる場ならもっと活気のあるものになると思います。期待しています
- インターネットを束縛しすぎると良くないが、自由が多い点も問題。難しいところだと思う。
- 事業者がプライバシーポリシーにしたがってデータを扱っていても、それに関わる個人がデータを漏洩しないよう、法的な整備を早急にしてほしいと願っています。
- 真剣に悩んでいる人を中傷する方がみられとても悲しく思います
- 絶対に情報が漏れないようにして欲しい。
- 病気で悩んだときに気軽に相談でき、プライバシーも確実に守られるというサービスが徹底できる国になれば良いと思う。
- 個人情報に関してですが、患者自身のプライバシーの為にも漏洩や利用のされ方にはとても懸念いたします。
- 何においても営利目的な要素が絡まないことを願う
- 多くの情報が提供されることは良いことだと思いますが、情報過多にならないようにしてほしいとも思います
- 個人情報の漏洩が一番不安です。得られる情報の取捨選択はネットじゃなくても個人の判断に委ねられていると思うのでより多くの情報が得られるに越した事は無いと思います。
- 医療相談をしたいので的確に答えてくれるところを作ってほしい
- 質問事項に答えると情報が健康薬品の業者などにながれるのが嫌です
- サービスの質により、有料な部分もあっても良いと思う。個人情報は完全な形で保護して欲しい。
- 信頼できる情報かどうかが見分けにくい。

- もう少し、情報の整理されたサイトが欲しい。
- 夜間休日診療情報病院の設備情報
- 予防医学の情報サービスが欲しい
- セキュリティの強化
- モラルに尽きる
- 非営利の信用できる情報がなかなかないのが難点。
- いろいろな情報がえられて感謝しているが、個人の情報がどこまで守れるか確たるものがほしい
- サービスの質は請いに越したことはないです。情報が間違っているは大変なので、確かな情報を提供しているかどうかですね。
- 知りえた情報を絶対に漏らさないという前提に基づいてだったら情報を利用してもいいと思います。
- 全然知らないところから来るメールにも情報管理に関する恐ろしさがあるが、私的医療関連の情報まで流用されることになれば本当に丸裸にされたことになり非常に不安です。情報の整理機関やモラルの向上のための教育が求められると思います。
- 信頼が置ける、という過程の元で情報交換を行っていると思うので何らかの登録などあったほうがいいと思う
- モラルの向上が必要
- 個人情報がどのように管理されるのかとても不安があります。わかる方法があればいいのですが。
- 体験談はなんとなく信じてしまいがち
- 自分にあった情報が果たして本当に合うのか不安になるときもある。信頼性のある情報を選ぶというのも大変です。
- やはり、普段も個人情報がどう流れているか不安はある。今は未成年者なので、そんなに被害は無いけれど。特に医療機関は守秘義務も関わる問題だと思うので慎重に考えて欲しい。

- 患者の弱みに付け込んだものなどは、排除して欲しい
- より地域性の高い医療情報を望みます。
- 製薬会社、病院の宣伝に利用されないようにする。
- 信憑性のある情報かどうか分からないです
- 情報の提供の日付をきちんと出してほしい。
- 専門家が答えてくださる場合、専門用語が多すぎて理解不能のときがあります。長い時間かかわってくればそれなりに理解できることもありますが、もう少し、素人にも解りやすく堪えてもらいたいです。(専門家ばかりではないですね)
- プライバシーの問題は確かに重要な問題点であるとは思いますが、それは通院でも同じ事ともいえますので、あまり気になりません。それよりも情報の内容が、より具体的に解説していただきたいと思います。あまりにも抽象的に書かれても、実際にどうしたら良いのかわからないという事が多々あるような気がします。
- 個人情報に関しての安全を第一に考えて欲しい
- 確かな情報が欲しくてアクセスするので正しい情報が当たり前前に配信されることを願います。
- 今後、より多くの人達がインターネットを利用して様々な情報やサービスなどを利用していくと思うので、サービスの質は信頼性の高いものであることは必須ではないかと思われる。個人情報も高い水準で保護するようなシステムをとっていかないと、悪用されかねないのできちんとそのあたりは考えてもらいたい。
- 情報は常に正確かつ正直に公開して欲しい。
- 個人情報保護は扱う人間次第だと思います。身元が明らかでないとはやはり載せられている情報全てに不安になります。
- 僻地や過疎地対策上と医療費がいよいよ高くなればインターネット利用は避けられないが親身な対応を受けられるかどうかである
- 何よりも大切なのは、プライバシーの保護、信用できる情報だと思います
- プライバシー・ポリシーの項目でもあるように、何かを決めるときは第三者のチェックと違反の罰則がないと結局、相手任せで、無いも同じだと思います。私はとりあえず掲示板でもこんな参考意見があるんだな、と意見を聞く・見るだけで参加は

しません。また、住所・電話番号ならいざ知らず（これは極端な話し、何かに一度応募してしまったら後は何回でも同じだと思う！）、病気や健康の情報が自分の知らないところで他人に漏れるのはとても気持ち悪い。特に、とても深刻な病気だったら知られたくないだろうな。

- ネットの情報はとても参考になる不可欠な存在である
- いろいろな情報を得られるが、最後は「専門の医師に相談してください」ということになる。これなら普通の健康健診と変わりはない。
- 医療情報の提供がまだ不十分です、体が不自由だからこそ、ネットで調べたいのです。もっと情報を求めます。
- あまりにも情報過多になると、何が本当なのか・信じていいものかどうかなど素人ではわからなくなるので、その辺りのことを考えて提供して欲しい。
- 相談しやすいのが良い。
- 複雑な問題なのでプライバシーに関してはきちんとして欲しいと思う。
- なんといっても、正確な情報が欲しいです。病院のランクづけが出来ると良いのと思います。
- いい情報を載せてほしい。
- インターネット上での医療情報は、プライバシーの事もありますし、まだまだ試行錯誤段階という気はします。また、第三者のチェック機関の必要性は強く感じます。
- これからは倫理規範もしくはガイドラインが絶対必要になってくると思うので、早期実現を願います。
- 他人に知られない工夫は非常に大事だと思う
- 積極的に使いたいと思う。
- 医療について調べている時は、なるべく個人のHPより、企業や病院のサイトに行くようにしています。そうしないと、間違いが生じた場合困るので。。あと、個人情報絶対もれているようでネットは怖い存在です。
- 色々な病気で悩んでいる人たちのためにも情報提供はとても大切だし必要だと思いますが、情報が多すぎて迷うことも有ります。1つの公的な機関を作って欲しいです。

- 公正な情報が欲しい
- 情報の流失の事を考えるとなかなか参加できない。
- 翻訳ソフトのでは訳に不安が残るので、海外の医療情報などを翻訳して提供して欲しい。
- 営利目的の情報が多すぎるので、情報の取捨選択ができるよう個々が訓練しないといけないと思う。
- 病気のこととかもっと細かく説明してくれるといい。割とどこも同じ事書いていてもっと突っ込んだところが知りたいのにと思うことがよくある。
- 保険のきく範囲内でテレビカメラで患者を写し、医師が指示を与えて家族が簡単且つ的確な介助ができれば良いと思う
- 現在、きちんとした基準がないため、情報の判断に困ることがあるので、基準を早急に確立して欲しい。
- 個人情報の保護はきちんとやって欲しい。
- どうしても、悩みの確信に入りきれず、知りたいことの答えになっていないのでは、と思う
- 治療の方法についてさまざまな意見が当然存在すると思うが、どうしても一面的になりがちそれが最大の欠点
- 顔が見えない分、相談しにくい事でもしやすくなるというのはいいと思うが、相手の情報が信頼性のあるものなのかとか個人情報は守られるかなど不安な面もある。
- 詳しく知らなければならぬ病気に関する情報が個人に隠されがちな今、医師以外にハッキリと聞ける場所が欲しいです。
- 個人情報の流失がこわい
- 本当に必要な情報が集まるようなシステムがほしい。
- CMの要素が多くある
- 障害者などこのようなサービスがあればとても助かる！実現するには諸問題があるだろうが、焦らず確実な方法で実現して欲しい物だ！ITこそ障害者の新開拓地であるから！

- さまざまな症例に対応するように、窓口を広げて欲しい
- やはり、情報は間違いのない正確なものでないと困ります。個人情報保護も絶対に必要だと思います。
- 情報の信頼性、正確性はしっかりして欲しい。
- 掲示板の書き込みを時々するのですが、匿名でも管理者の方にはこちらの情報など分かってしまうのでしょうか？そういった事が不安です。
- 人によって病気の対処法が違う場合どれがいいのか分からない。なので実際の症例の写真や詳しい情報など、患者の判断基準になるよう情報量とともに情報の質が高まるといいと思う。病気は特に人に知られたくないから個人情報保護は最低限当たり前！と思う。
- 相談しにくい病気ほど、インターネットによる情報がほしいのですが、個人情報が漏れるのではという不安と抱き合わせになっています。
- 言葉が難しい。
- プライバシーの保護がどこまで守れるかが重要になると思う。
- 医療機関がもっと積極的に病状の具体例や治療法などを公開してくれれば、利用も増えると思う。
- ネット情報に頼らなければいけない状況ではないので直接医療機関に行くほうが安心できる。
- 患者数の少ない病気についても、取り上げられるようになればいいなと、思います。少ないゆえに情報があまりない。
- 自分の健康状態がどうであるか、どの様な病院に行ったら良いか検索できると良い。
- 個人情報の保護などについて、第三者機関のチェック機関が必要と考える。
- サイトが増えるに従い、情報やサービスの質は良くなっていると思う。個人情報の漏洩は心配である。
- 地方などの医療機関情報量は、とても少ない。HPを持たない個人病院が多く、内容が偏っている。
- 情報はほんとに確かなものかインターネット上ではわからない。

- 一つ一つもう少し充実した情報が欲しいと思う事がある。尻切れトンボで終わって、また他を探して・・・時々疲れる。特に公的機関は解かりづらく、利用したいと思わない。
- 信頼できるものであれば必要と思うが、そうでなければ意味をなさないと思う。
- 医療のこの本当の相談は難しい。
- 納得のいくまで、最後まで相談にのってくれるとありがたいなと思っています。
- 営利目的のためのものもあるため、なくして欲しい。
- 医師の数が少ない地域では、インターネットを利用した健康相談等が必要ではないでしょうか
- 個人情報の守秘義務は必須の条件であると思うので厳重な保護が必要で有ると思います。管理側のモラルも大変重要であると思います。
- 厳しすぎるくらいの法律、保護があるほうが健全な運営につながると思う。
- 自分の病気などに関しては、非常にプライバシーを含むものであるので、必要最低限の個人情報保護は必要であると思います。
- すぐに返事が返ってくれば良いが、返ってこない場合返ってくるまで待たなければならない。
- 私だけでなく、家族も病気で悩んでいるので、これからも、もっとこの種のサイトを利用したいので、更なる内容の充実を期待します。
- 製薬会社のホームページで薬の検索をする場合、医療従事者のパスワードが必要な場合があり、病院で出された薬についての情報が得られない場合がある。
- 医療情報は1歩間違えれば生命の危険を伴う事なので情報の供給においてはその信憑性を確実にする事が必要であると思うので、その根拠を明示する必要があると思いますし、又個人情報については、目的以外の用途に使用されるよう管理を強化して欲しいと思います。
- 情報の漏洩に注意してほしい！
- 難病の新しい治療薬の開発状況等に関する情報が提供されるようになって欲しい。
- 娯楽や営利を目的とする性格のものではなく、本当に公共性の高いものが求められる

- 誰もが安心して、利用できるようになって欲しいと思います。
- 情報の質については、信頼の置ける公的機関の情報が少ない。
- インターネット上で提供される情報やサービスの質は一人一人が充分注意して扱わねばなりませんね！
- 対面でなく、質問でき情報が得られるという利点があるので、どんどん伸びて行って欲しいです。全般的な情報と地域の声による（良い病院等の）情報が得られると有難いです。
- プライバシーが重要
- もう少し病気の症状など詳しく書いて欲しい。
- 個人の思い込みなど偏りも予想されるので、公正な第3機関が必要。
- 病院の格付けをおこなしてほしい。
- 将来、インターネットでの受診とかが可能になれば、便利とは思いますが、それには、プライバシーポリシーを法的に義務付け、監視して罰則も設けないと安心できないと思う。
- 確実な内容だけを、患者は求めている。
- 最新情報を多く欲しい
- 医療に関する情報はたとえそれが、ボランティア的なものであっても、薬などと同じ様にある種の規制があってしかるべきだとも思います。患者は時にはワラにもすがりような気持ちで情報を求めるのですから。
- 近医に専門医がない場合、症状にどう対処していくべきか、ネットで検索する程度。基本は病院へ行き正しい診断および投薬を受けるべきと考えている。
- 個人情報漏れるようなことがあってはならないと思います。管理する側は十分な注意を払うべきだと思う。
- 医師の個人的エッセイのホームページなどを見ると、客観的な情報がある場合が多いです。
- 今後も検索の利便性を追及して欲しい。

- 病気のことを自宅でも簡単に調べられたり相談できたりすることができ、とても便利だと思えますが、その個人情報外部に漏れてしまうか心配です。特に健康に関することなので、病気をもつ人間にとっては「治る」という情報があると少しでも多くの情報やクスリなどが欲しくなるもの。そこに目をつけて、その情報を元に、悪徳商法などされると大変迷惑です。
- プライバシーの保護
- 人の生命に関する問題であるだけに慎重にして欲しい。
- 現在私が知っている限りでは、大手の信頼感の有る業者が皆無で、病気ごとに探すのに苦労しています。相談のメールを送ったら、変な広告メールがさかんに入るし。
- 痛風に関しての情報が最知りたい
- インターネットは疾患によって医療システムを変える可能性が多分にあります。きっちりと法改正や対応を行い医療として確立していくべきだと思う。
- 本当に実在するものであるかが一番不安に思われるところです。
- 何処までがプライバシーなのかよくわからない。情報の真偽を誰が判断して誰が責任を持つかわからない。
- ハッキング行為によって外部へ情報が流出すると言う最悪の事態に成った場合、情報提供者である私達に取って一番我慢できず、不快な思いになるのが医療や掛かっている病気に関した全ての個人情報です。従って行政が一刻も早く、今後ネット上で遣り取りされて行く可能性が極めて高いこれらの個人情報の管理と取り扱いに対して厳しい罰則を備えた法的な牽制を作って欲しいと切に望みます。又、こうした個人情報を扱う団体や医療機関、そして携わる全ての人の心に絶対に悪用しない心構えと良心的な姿勢を期待するものです。
- 個人情報の流出は、法的規制を設け、またこれを強力に監視して絶対に防がなければならない。
- 現在は守られている保証がありません。その点に於いて真実の意見を集めにくくなっているように思います。
- ほんとに、信じていいのか、不安になることがある。
- 見る側の自分たちも真偽を見分ける目を持ちたいと思います。
- 病気に関してはとても神経質になる場合が多いのでいい加減な情報が流れないよう

にしてほしいです。

- 患者にとって有益な情報は公開して欲しいがプライバシーや営利目的のみの情報の公開は肯定できません。
- 医師や医療機関の間でいかにもうけ主義が横行しているかがよくわかる。
- やはり一番安心するのは同じ状態に陥っている人との情報交換などであると思う。
- まもなく、国民総背番号制が始まるが、医療の個人情報と背番号がリンクされることには、反対である。
- 知りたい情報へたどりつくのが難しいときがある。
- 営利目的かなと感じさせるようなものは嫌だと思う。
- インターネットは便利ですが、その分自分のプライバシーなどに注意しないとけないと思います。個人でするには限界があるのできちんとした対策が必要だと思いました。
- どの分野でもそうだが、本当に正しい情報かどうか、個人が判断できない状況は好ましくない
- 薬のランク付けをして欲しい。どの薬が弱いか強いか。どれ位の期間だったら使用して良いか
- 正しく親切な対応を希望します。
- 専門的な用語も必要ではあるが、もう少し誰にでも分かりやすい説明文も必要だと思う
- 非常に参考になり、今後も掲載願いたい。
- 難病についてもっと詳しい情報を知りたいです
- 人によって意見が違うので惑わされる。こればかりは仕方ないかも知れないけど、却って不安を煽るような気がする。
- 個人情報などの漏洩がないようなセキュアなインフラ作りを早急をお願いしたいところです。現在、セキュアネットワークエンジニアとして就労していますが、今後将来このインターネットのインフラにおいてセキュアな環境は必要不可欠だと思いますし、この環境を利用すれば多方面への応用が利く他、素早い情報交換、収集ができる事は間違いないと思っています。

- 医療についてもっと気軽に相談できる場所があればナと思います。
- もっと、インターネットを有効に利用して、医療の相談や情報収集ができればいいと思うが、個人情報の保護が心配であまりできないのが正直な所です。
- 掲示板などで患者を装い健康食品を売りつけたい事がみえみえの書き込みが多すぎます。
- 本当に知りたいことはあまりわからない
- 提供されている情報がまちまちで、違って戸惑うことがある。
- きちんと管理して欲しい
- 個人情報等不正に利用されたときの法の規制強化を
- 最近、知人に教えてもらってネット上での医療の情報を見るようになりました。提供者が不明な情報は信用性にかけるのではっきりして欲しいと思います。
- 以外に知りたい情報が少ない。薬で言えばフルツロンに関して実際の効力とか知りたい。厚生省も信用出来ない。
- 薬品メーカーは営利目的がつきまとうので、あまり信用できない
- 個人データの外部への漏洩と目的外の利用制限をさせないための措置を講じることが必要だと思います。
- 正しい情報、サービスを期待します
- 今後も参考にしていきたい
- プライバシーが、どれだけ保護・守られているのか。不安です。でも、聞ける場所が無いので、情報を得たいがために、インターネットを、活用してます。やはり不安です、情報の、漏れや、他の人に知れたりするのは。
- 現在は様々な情報が入り乱れ、信憑性もはっきりしないことがあり信じてても良いのか不安なこともあるが、多くの情報が得られることはありがたいことだと思う。
- インターネットの普及によって、個人のプライバシーが守られるかどうか心配。
- 病院関係者だと思っていたら全く関係ない方でした。そんな方がいかにも何でも知ってますみたいに対応されるとその方の本質を疑いますし、顔が見えないのでからかっていらっしゃるのではないかと思ったりすることがあります。

- 一般的な内容が多いので個人のサイトの方が私は好きです。
- 個人情報の法整備
- 病気の相談内容など、個人情報の管理は完璧にしてほしいと思います。もし違反などがあつたら、相談者に対して賠償金などの保証をするべき。
- なかなか病院では医師に聞きにくいこともネットを通じてなら考えながらきくこともできるので、ぜひ普及して欲しい。
- もしも漏洩した個人情報が営利目的に使われれば、医療関係の個人情報の漏洩は一般的な個人情報の漏洩よりも危険だと思う。わらをもつかむような患者心理というものにつけこまれば、大変なことになる。
- 医療ミスも患者の勉強不足からおこりうる事もあるので、何でもかんでも医療ミスと言うのは・・・だと思います
- 宮崎市の身体障害者は医療機関にかかったら1ヶ月1,000円を超えた場合、その1,000円を除いた金額が戻ってきますので現在の医療にあまり不満はありません。
- 個人情報の保護は必ず強化するべきだと思います。
- 実際病気などプライベートなことなので、管理者や利用者の身元が明らかになる方法が必要であると思う
- 医者からの詳しい症状などの解説がわかりやすくてのっているホームページがたくさんあればいいと思う。また日本全国の詳しい病院検索ができるサイトがあればいいと思う。
- 24時間いつでも相談でき、かつ迅速に対応してもらえれば嬉しいと思います
- インターネットのメールでは、伝わりきれ無い所があるので判断しにくい所があるように思います。
- 何が正しいのかよく分からないことがある。これは困る。
- 客観的な情報を。
- 緊急で情報が欲しい場合がとて多いのではやく確実な情報が整備されると嬉しい。
- 今のところ特に感じていることはありません。